

二〇二三年度 東京藝術大学 大学院音楽研究科(博士) 入学試験(問題・解答)用紙
 実施日時: 二〇二三年二月九日(木) 十三時〜十四時三十分 又は 十四時四十五分〜十六時十五分(各一時間三十分)

科 目	受験生記入欄		(ア)	(イ)
国語古文(邦楽・音響)	専攻科	声種		
二枚のうち一枚目	楽器	受験番号		
		番		

第一問 次の文章は、舞の本「堀川夜討」の一節です。一連の源平の戦いを終え、鎌倉に下向した義経が、兄頼朝の勘気を受けて兄への対面もかなわぬまま、間もなく京都に戻ってきたところから話が始まっています。この文章全体を会話の主体等を明らかにしながら現代語に訳しなさい。

この部分につきましては、著作権法上の関係から掲載することができません。

第二問 次の文章は、鈴木桃野の随筆『無可有郷』(天保頃成立)「劇評」の一節です。これを現代語に訳しなさい。

この部分につきましては、著作権法上の関係から掲載することができません。

二〇二三年度 東京藝術大学 大学院音楽研究科（博士）入学試験（開扉・解答）用紙
 実施日時：二〇二三年二月九日（木） 十三時～十四時三十分 又は 十四時四十五分～十六時十五分（各一時間三十分）

国語古文（邦楽・音響） 二枚のうち 二枚目	科 目 受験生記入欄 専攻科 声種 楽器	受験番号 番	(ア)	(イ)
--------------------------	----------------------------------	-----------	-----	-----

【解答用紙】

第一問

第二問